

オーストリア映画週間2024

Our Very Eye - 揺るぎなき視線

AFW

AUSTRIAN Film Week

2024

29th June Sat. — 5th July Fri.

Theatre Image Forum

Organized by: Austrian Cultural Forum Supported by: Austrian Film Institute

www.imageforum.co.jp/afw2024

Jessica Hausner

Veronika Franz

Severin Fiala

Daniel Hoesl

Julia Niemann

Nikolaus Geyrhalter

Ruth Beckermann

Milena Czernovsky

Lilich Kraxner

Edgar Honetschläger

果敢な映画が次々と生まれるオーストリアから最新未公開作品が集結！

ヨーロッパで独自の地位を築く、

2024年6月29日(土) — 7月5日(金) シアター・イメージフォーラム

主催: オーストリア文化フォーラム 助成: オーストリア映画協会 協力: ダゲレオ出版

オーストリア文化フォーラム
austrian cultural forum

austrian
film institute
OFI

AFW

AUSTRIAN Film Week オーストリア映画週間2024 Our Very Eye - 揺るぎなき視線

“芸術の都”ウィーンを首都に抱く、中欧のオーストリア。クラシック音楽や絵画などの伝統的芸術の地として知られる国だが、ミハエル・ハネケやウルリヒ・ザイドルに代表される、現代で最も果敢でアヴァンギャルドな映画を脈々と生み出してきた歴史がある。こうした90年代以降の「オーストリア・ニューウェーブ」的状況の申し子とも言えるジェシカ・ハウスナーやヴェロニカ・フランツといった今や国を代表する作家たち。加えて世界中で高い評価を得るルート・ベッカーマンやニコラウス・ゲイハルターといったドキュメンタリー作家、そして若手の要注目作家たちによる、なんと全て日本初公開プレミア (!!) 作品のセレクション7本が集結。この機会にぜひご覧ください!

Schedule
A
110 min



©GOSPEL FILMS/STUDIO ESSENTIAL FILMS
PHARMENIE PRODUCTIONS/PAKOLA PRODUCTIONS
BRIEF PITCHES CHANNEL 2023

クラブゼロ Club Zero

監督・脚本：ジェシカ・ハウスナー（『リトル・ジョー』『ルドルの泉で』） 脚本：ジェラルディン・バジャール 撮影：マルティン・グシュラハト（『リトル・ジョー』） 編集：カリナ・レスラー
作曲：マークス・ビンダー 衣装：ターニャ・ハウスナー 出演：ミア・ワシコウスカ（『アリス・イン・ワンダーランド』）他 2023年カンヌ国際映画祭コンペティション部門出品
2023年ヨーロッパ映画祭最優秀音楽賞受賞作品 110分/オーストリア・イギリス・ドイツ・フランス・デンマーク・カタル/2023年 配給：クロックワークス 2024年公開予定 *日本語字幕付き English with Japanese subtitles

“クラブゼロへ ようこそ”

ホラー？ 喜劇？

ジェシカ・ハウスナーの人間社会に対する透徹した視線が際立つ、不安に満ちたサタイア。

裕福なインターナショナル・スクールに栄養学のノヴァク先生が新任としてやってくる。“意識的に食べる”ことの大事さを、優秀だが無垢な生徒たちに教える先生。大量消費主義がいかに地球と人間の体を破壊しているか。だからこそ“食べる量を少なくすること”を勧められた生徒たち。両親たちの心配をよそにその教えにのめり込んで行く…。ミハエル・ハネケに師事した筋金入りの真っ黒なユーモアで観るものを蹂躞するハウスナーの野心に満ちた作品。

Schedule
B
121 min



©GlobeMedia/production, Heilmann

デビルズ・バス (仮題) Devil's Bath

監督：ヴェロニカ・フランツ（『グッドバイ・マミー』）+セグリン・フィアラ 製作：ウルリヒ・ザイドル（『サファリ』『パラダイス3部作』） 撮影：マルティン・グシュラハト（『リトル・ジョー』『クラブゼロ』） 編集：ミハエル・バルム 音楽：Soap & Skin（アーニャ・ブラッシュ） 衣装：ターニャ・ハウスナー（『クラブゼロ』） 出演：アーニャ・ブラッシュ、ダヴィッド・シャイト、マリア・ホーフステッター（『パラダイス：神』）
121分/オーストリア・ドイツ/2024年 配給：クロックワークス 2025年公開予定 *日本語字幕付き German with Japanese subtitles

“私の狂った妄想が世界に毒を盛ったのです…”
声なきまま歴史に葬られてきた女たちの視線を通し、「暗黒の中世」の血塗られたタブーを限りなくダークに描くグロテスクなサイコドラマ。

1750年、オーストリア北部。処刑された女が、見せしめのために断崖に晒されている。それを哀れみの目で見つめる信心深いアグネス。新婚の彼女は夫との関係に悩んでいた。農村の重労働と周りからの視線に押し潰され、彼女は呪物に変わり、やがて現世から幽離していく。追い詰められた彼女に残された出口は…？ 鬼才・ウルリヒ・ザイドルの脚本家でもあるヴェロニカ・フランツの長編監督最新作。2024年ベルリン国際映画祭銀熊賞（芸術貢献賞）受賞。

Schedule
C
86 min



我來たり、我見たり、我勝利せり (仮題) Veni Vidi Vici

監督：ダニエル・ヘスル+ユリア・ニーマン 製作：ウルリヒ・ザイドル（『サファリ』『パラダイス3部作』） 撮影：グラウト・ケルケルツ 音楽：マヌエル・リーグラー
出演：ローレンス・ルップ、ウルシナ・ラルデ（『白いリボン』）、オリビア・ゴシュラー他
86分/オーストリア/2024年
2024年サンダンス映画祭出品作品
配給：ハーク 2025年公開予定 *日本語字幕付き German with Japanese and English subtitles

“破壊こそクリエイティブ!”

資本主義の終末の世界を極度にシニカルなユーモアで描き、今年のサンダンス映画祭で話題を呼んだセンセーショナルな問題作。

起業家として億万長者になり上がり、幸福な充実した人生を送るメイトナード家。一家の長アモンは、趣味のハンティングに情熱を傾けている。アモンがハントするのは動物ではない。莫大な富を抱えた一家は何だか躊躇って狩る事が許されるのだ…。【ユーモアは危険な時に最高に力を発揮する】という信念を持つ気鋭の監督デュオが、観る者に笑いと怒りを同時に発現させる。

Schedule
D
105 min



©AFW

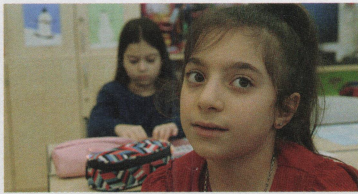
無用物 Matter Out of Place

監督・撮影：ニコラウス・ゲイハルター 編集：サミラ・ガレマニ、ミハエル・バルム
2023年ロカルノ国際映画祭「緑の豹」賞受賞作品
105分/オーストリア/2022年 *日本語字幕付き German with Japanese and English subtitles

集め、切り刻み、燃やし、埋める。膨大に生まれる廃棄物をコントロールしようとする、人類の終わりの見えないジグゾー的営み。大量ゴミ処理の現場を巨大なスケールで捉えるニコラウス・ゲイハルターのドキュメンタリー最新作。

大ヒット作品『いのちの食べかた』でお馴染みとなったタブー的なショットの配置で、スイス・アルプスの山頂、ギリシャやアルバニアの海辺、オーストリアの巨大焼却炉、モルディブの海底やネヴァダの砂漠など、普段人の目の届かない場所で営まれている大量のゴミ処理の様子を、オブザーショナル・ドキュメンタリーの巨匠ゲイハルターが記録していく。その環境学的・人類学的なアプローチが高い評価を得てロカルノ国際映画祭では「緑の豹」賞を受賞した。

Schedule
E
118 min



©GlobeMedia/production, Heilmann

ウィーン10区、ファヴローテン Favoriten

監督・脚本：ルート・ベッカーマン、脚本：エリーザベト・メナス 撮影：ヨハネス・ハンメル
2024年ベルリン国際映画祭最優秀賞受賞作品
118分/オーストリア/2024年 *日本語字幕付き German with Japanese and English subtitles

「移民のヨーロッパ」、その最前線の教育現場。生徒たち（と担任の先生）の日々の冒険、失敗、闘い、成功が、子供の目線で見事に活写された、子供時代の讃歌とも言える心打つドキュメンタリー。

伝統的な労働者の街として知られているウィーン10区のファヴローテン地区。そこは今や移民とアイデンティティの間で揺れる現代ヨーロッパの鏡とも言える状況となっている。ファヴローテン地区にある小学校の生徒のほぼ全員が移民の子であり、様々な民族的・文化的背景を持った子供たちが同じクラスで学んでいる。公共教育の「危機的状況」が叫ばれるその最前線で実際に何が起きているのか、ドキュメンタリーを始め数々の映画祭で受賞経歴のあるドキュメンタリーの巨匠ルート・ベッカーマンが、そこに通う子供たちを3年かけてその成長を追いかける。

ローマの近くには、ティレニア海を見下ろす古城がある。不機嫌な城主がボロ車から愛国的スローガンを喧伝する一方で、地元司祭は自分の理解を超えるものは何でも撃ち殺す。移民の聖歌隊に混じって農民たちはヘーゲルの思考にふけり、哲学者のロバのバルタザールとその友人が人間の愚かさについて推察する…。

Schedule
F
95 min



ベアトリス Beatrix

監督・編集：ミレーナ・チェルノフスキー、リート・クラクナー、撮影：アントニア・デ・ラ・ルツ、カシク 出演：エーファ・ゾマー、カグリチ・ファンライトー他
2021年FIDマルセイユ映画祭最優秀賞 95分/オーストリア/2021年 *日本語字幕付き German with Japanese and English subtitles

植物に水やりをし、お風呂に入り、ボールで遊び、電話をし、友だちを呼ぶ。時々鏡で自分のイメージを確認するベアトリス。女性の身体とそのイメージ、映画のナラティブについての親密な考察。

ある夏、とある日に一人で過ごすことになり暇をもてあますベアトリスの日常が16ミリフィルムで端正に捉えられる。あらゆる期待から解放されたベアトリスの姿をいかなるフレームにも閉じ込めようしない監督たちのアプローチは、初期のジャンラル・アケルマンの作品にも通じる。新鋭監督デュオによるデビュー作。

Schedule
G
75 min



特別上映 ミダースの蟻 Midas' Ants

監督：エドガー・ホネネットシュレガー（『Aun 阿侘』） 75分/オーストリア/2022年 *日本語字幕付き Italian with Japanese subtitles

ドキュメンタへの出品など、アーティストとしても知られるエドガー・ホネネットシュレガーの最新映画作品。人間の自然に対する考え方が変容する歴史的瞬間を味わうアヴァンギャルドなロードムービー。

お得な3回券発売中!! 3900円(税込) ※特典B3ポスター付き
当日：一般＝1800円/学生・シニア＝1300円/会員＝1200円
※本映画週間ではサービスデーの適用はございません。全席指定/オンライン予約あり
渋谷駅より徒歩8分/宮益板上がりで青山通り表参道方面一つ目の信号右入る

タイムテーブル Schedule		★＝監督Q&Aあり				
6/29(土)	6/30(日)	7/1(月)	7/2(火)	7/3(水)	7/4(木)	7/5(金)
	16:30 ★ B	16:30 D	16:30 F	16:30 A	16:30 C	16:30 E
19:00 ★ A	19:00 C	19:00 G	19:00 E	19:00 B	19:00 D	19:00 F

